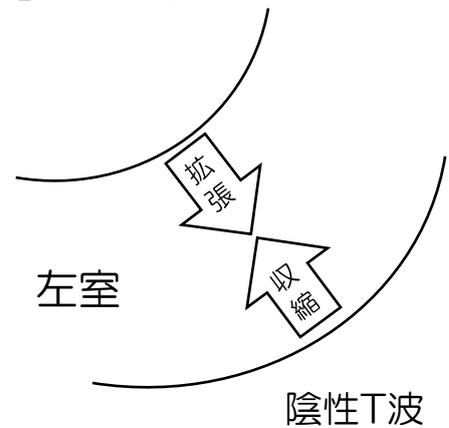


① 陰性T波のメカニズム

(再分極異常の場合)

- ① 通常、心筋の再分極は心外膜側から起こるが心内膜側細胞が先に再分極するようなことが起こると（例えば肥大心）、内膜側では心筋が弛緩しはじめているのに外膜側ではまだ収縮しているというような状態になって効率良く拡張ができなくなる。

この時、心電図上はT波は下向きになる。



- ② この陰性T波の部分では、心筋の拡張不全を来たし血液を充満することが上手く行かなくなっている。これは心臓のポンプ機能としては効率が悪く、心筋が拡張するのに時間がかかり、心不全につながることになる。

